



あらかわ治水巡り 上流域コース（山形方面）を開催しました。 飯豊山系砂防事務所

7 月 29 日（土）、多くの参加募集の方の中から、20 名の方と一緒に「あらかわ治水巡り 上流域コース（山形方面）」を開催しました。羽越水害から 50 年という機会に、災害の面影を残す場所や災害後の治水・砂防事業について、小国町の文化を交えながら、見学していただきました。



巨石の復興記念碑の前で、小国町における水害範囲を説明しました。



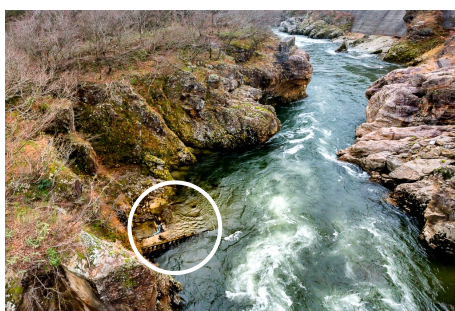
記念碑の横には、災害当時の増水位を記した石があります。



参加者の方にも、羽越水害時の小国町の様子をお話していただきました。



羽越水害で落橋した橋桁を、実際に見ていただきました。



このような形で、橋桁は今も荒川に残されています（白丸の箇所）。



水害前の赤芝橋の様子。当時はドライブインも隣接していました。



玉川スーパー暗渠砂防堰堤を背後に、参加者の皆さんで記念撮影。



玉川スーパー暗渠砂防堰堤を見ながら、砂防堰堤の効果について説明しました。



堰堤の上から、暗渠を流れていく川の様子を見ていただきました。

参加者の方からも、羽越水害当時のお話をお聞かせいただけるなど、とても有意義な時間となったかと思います。アンケートにおいても、「説明が丁寧でわかりやすかった」、「普段は行けないところに行くことができた」など、ご好評をいただきました。

